

令和 7 年度「韓哲・まちづくり夢基金」 運用益等活用事業（案）

令和7年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業（案）

資料3

No	事業名	分野	担当部署	予算額 (基金充当予定額)	継続・新規
1	グローバル人材育成事業	教育	教育委員会 学校教育課	38,236千円 (22,235千円)	継続 ※4年目
2	プログラミング教育推進事業	教育	教育委員会 学校教育課	2,024千円 (1,027千円)	継続 ※2年目
3	いじめ・不登校防止対策等総合推進事業	教育	教育委員会 学校教育課	6,815千円 (3,408千円)	新規
4	韓哲・まちづくり夢基金事業補助金	その他	市長公室 政策企画課	18,000千円 (18,000千円)	継続 ※8年目
5	SDG s 推進事業	教育	市長公室 政策企画課	550千円 (550千円)	継続 ※2年目
6	高等学校全国募集入学生応援事業	教育	教育委員会 教育総務課	2,700千円 (2,700千円)	継続 ※5年目
7	大学等受験料支援事業	教育	教育委員会 教育総務課	1,325千円 (1,325千円)	継続 ※2年目

令和7年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業（案）

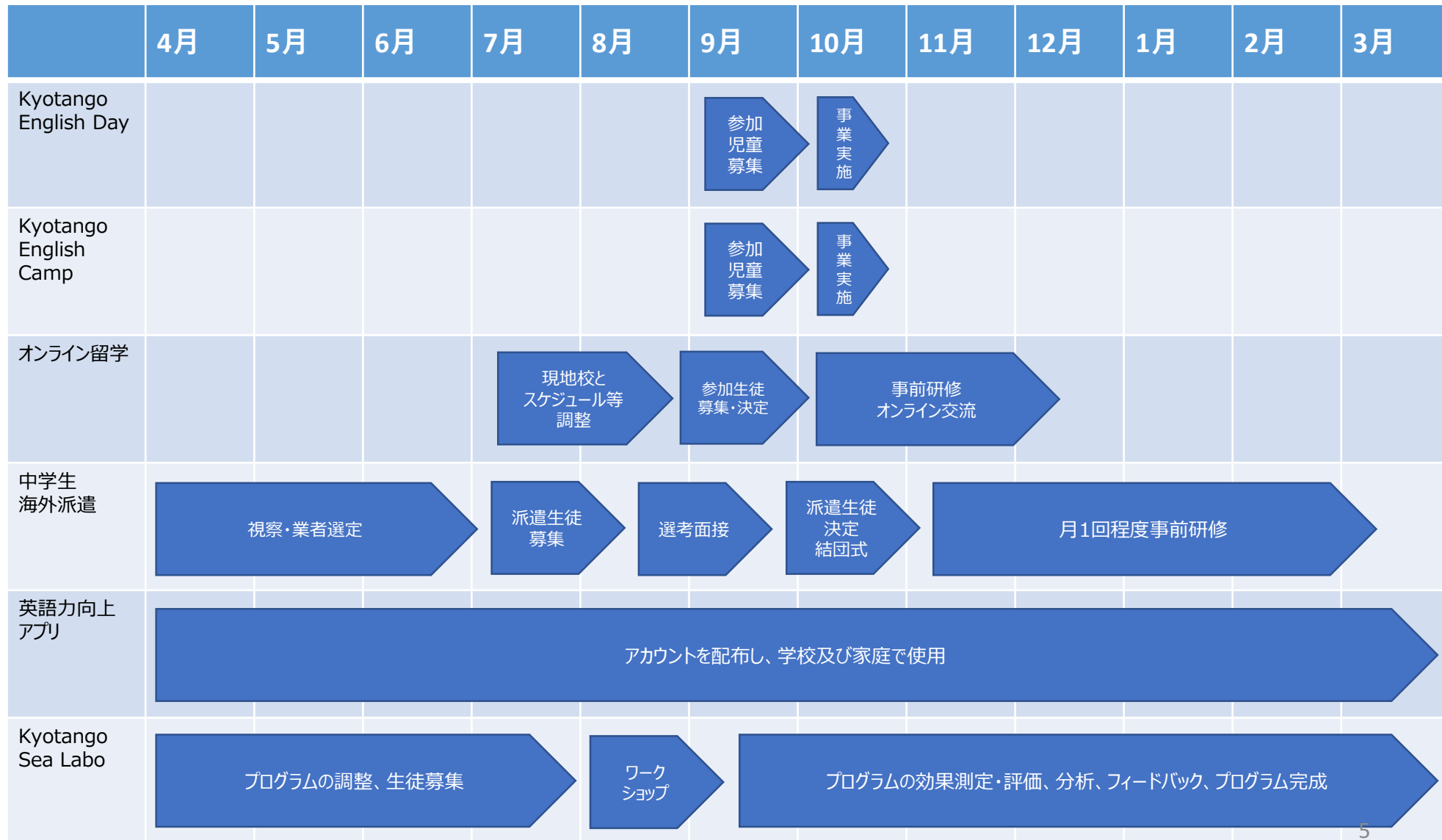
資料3

No	事業名	分野	担当部署	予算額 (基金充当予定額)	継続・新規
8	京丹後市民陸上大会	スポーツ	教育委員会 生涯学習課	300千円 (238千円)	継続 ※5年目
9	国際大会・全国大会出場者への激励金	スポーツ 文化	教育委員会 生涯学習課	800千円 (800千円)	新規
10	京丹後市文化芸術振興計画及び 文化庁移転に伴う文化芸術推進事業	文化	教育委員会 生涯学習課	2,521千円 (1,361千円)	継続 ※4年目
11	地域公民館管理運営事業	社会教育	教育委員会 生涯学習課	2,778千円 (491千円)	新規
12	図書館管理運営事業	図書館	教育委員会 生涯学習課	27,898千円 (13,949千円)	新規
13	社会体育団体育成事業	スポーツ	教育委員会 生涯学習課	3,402千円 (3,402千円)	新規
14	青少年教育事業	社会教育	教育委員会 生涯学習課	1,219千円 (1,219千円)	新規
			合計	108,568千円 (70,705千円)	3

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	38,236千円 (22,235千円)
目的	国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、児童生徒を対象に諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。				
事業概要・主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○Kyotango English Day 【対象:小学3・4年生】 22千円 CIR・ALTとの英語による交流会（消耗品費、通信運搬費） ○Kyotango English Camp 【対象:小学5・6年生】 313千円（充：107千円） CIR・ALTとの交流会（通信運搬費、施設使用料等） 1泊2日で開催 定員：20人 ○オンライン留学 【対象:中学1年生】 13千円 外国とのオンライン交流を開催。事前研修を含む5回で構成（通信運搬費） ○中学生の海外派遣 【対象:中学2年生】 12,105千円（6,054千円） 海外へ派遣し、一般家庭での生活体験や現地の学校で、学校生活を体験 派遣先：オーストラリア パース 期間：9日間 人数：20人 ※渡航費用の3/4を補助金交付（旅費、補助金等） ○英語力向上アプリ【対象:市内全中学生、小学5・6年生】 21,019千円（13,608千円） 1人1台端末においてAIによる英語力向上アプリの活用 市内全中学生は引き続きの活用、小学5・6年生は令和7年度から導入 英語の「聞く」「話す」力を伸ばすとともに英語でのやりとりに自信をもてる生徒を育成 (ライセンス使用料等) ○「Kyotango Sea Labo」開催【対象:中学3年生、高校2年生】4,764千円（2,383千円） 本市の産業等の特色を活かしつつ、丹後学、デザイン思考、STEAM教育の要素を融合させたプログラム（ワークショップ）を専門機関（海外の大学含む）と連携し実施 (報償金、旅費、委託料) 			<p>思いやりの心もち ことばの橋を架けて 未来をつくり出すことも 育てたい3つの資質</p> 	
				 <p>お互いを認め合う心 世界とつながるコミュニケーションの力 未来をつくり出す力</p> <p>Open-handed Bridge Design</p>	
			スケジュール	別紙のとおり	

No1 グローバル人材育成事業

事業スケジュール



分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	2,024千円 (1,027千円)
----	----	------	-------------------	---------------------------	----------------------

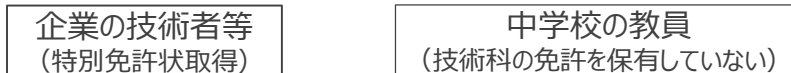
目的 中学校技術科の授業について、高度な専門性を有した専門人材に遠隔地から実施していただき、またプログラミング教材の導入により、より充実した学びを児童生徒に届けることを目的とする。

事業概要・主な経費

○遠隔教育 850千円 (充・426千円)
 技術科の専科教員が配置されていない中学校(2校)において、遠隔地から専門性の高い講師による授業を実施することで、より充実した学びを児童生徒に届ける。
 技術科の授業において、解決できる問題を見つけ、その問題を解決するための情報収集を行ったり、具体的システムのプログラムを制作することで、これからの時代に必要な探究的な学びを身に付ける。
 主な経費：講師2名の報酬及び費用弁償

○プログラミング教材導入 1,174千円 (充・588千円)
 令和7年度大学入学共通テストから出題科目となった「情報Ⅰ」で求められる力を育成するため、また教員の働き方改革(教材研究の時間削減)のため、また、技術科の教員配置がなく他教科の本務者が授業を行っている中学校においても質の高いプログラミング教育を行うため、プログラミング教材を導入をする。
 対象：全中学校1～3年生
 主な経費：ソフトウェア使用料

○遠隔教育



本市には、技術科の教科免許を有した教員がいない学校がある。



○プログラミング教材導入




事業スケジュール

○遠隔教育
 令和7年4月～令和8年3月：遠隔授業実施
 ※技術科「計測・制御のプログラミングによる問題解決」等(計18時間)

○プログラミング教材導入
 令和7年4月導入

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	6,815千円 (3,408千円)
目的	近年増加している児童生徒の不登校やいじめの防止対策のひとつとして1人1台端末の匿名相談アプリにて悩み相談に応じるもの				
事業概要・主な経費	<p>○匿名相談アプリ「STANDBY」の導入 1,227千円（充・614千円） 対 象：市内小中学校の全児童生徒 主な経費：匿名相談アプリ使用料</p> <p>○SOSの出し方教室に係る出張授業委託料 198千円（充・99千円） いじめに限らず、不登校をはじめ、学校や家庭でのさまざまなストレスや、不安などを一人で抱え込むことなく、大人や周りの友達に相談することの重要性を授業の中で体験してもらう。 また、近くの人に相談しにくい場合には匿名アプリを使って相談できることを伝え、対面での相談がしにくい子どもの声を拾えるようにする。 対 象：市内小中学校の全児童生徒 主な経費：講師2名の報酬及び費用弁償</p> <p>○SNS相談業務委託料 5,390千円（充・2,695千円） 令和6年度10月より、上記出張授業を行い、匿名相談アプリSTANDBYを導入したところ、11月末下旬の約2か月で800件を超える相談が寄せられた。（うち、いじめの相談は130件程度）。その後も1日あたり10～20件の相談が寄せられており、いじめや不登校の相談について、より精度が高く、丁寧な対応を進めるためにも、専門のカウンセリングセンターへ相談業務を委託するもの。 学校教育課は毎日の相談内容を確認し、いじめが起きていると危惧される場合は、本人や保護者の同意のもと、学校との連携を図り、早期の解決を目指す。 対 象：市内小中学校の全児童生徒 相談時間：平日の16時～21時 主な経費：相談に係る人件費</p>		<p>被害者も傍観者も、 SOS の出し方を考える</p> <p>SOSの出し方教育</p>  <p>専任講師が 現地もしくはオンラインで 授業を実施</p>		<p>匿名でSOS を出せる、 解決してくれる人とつながる</p> <p>STANDBY (スタイドバイ)</p>  <p>個人の端末だけでなく、 学校で配布される一人一台 端末を活用し、 すべての子どもがSOS をどこで も出せる環境をつくる</p>
事業スケジュール	<p>○匿名相談アプリ「STANDBY」の導入 令和7年4月～令和8年3月</p> <p>○SOSの出し方教室に係る出張授業委託料 令和7年5月頃：対面での授業をクラスや学年ごとに実施</p> <p>○SNS相談業務委託料 令和7年4月～令和8年3月を委託予定 ※いじめ発生等、緊急性の高い相談がある際には委託先より報告を受け、いじめなどへの迅速な対応を行う。</p>				

分野	その他	担当部署	市長公室政策企画課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	18,000千円 (18,000千円)
目的	韓哲・まちづくり夢基金を活用し、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりに繋がる人材育成、顕彰等を行う者に対して、企画公募型の補助金を交付して支援し、市民等の夢の実現を後押しする。				
事業概要・主な経費	<p>【補助対象者】 京丹後市内に住所又は主たる事務所若しくは事業所を有する、個人（未成年の場合は保護者）、団体、法人等</p> <p>【募集する事業】 応募は1個人又は1団体等につき1提案。事業内容は、「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金条例」に規定する、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりに繋がる人材育成、顕彰等に係る事業であること。 本市の他の補助制度の対象となる事業（京丹後市スポーツ・文化活動等大会出場激励金等）については補助対象外とする。</p> <p>【補助金額、補助率等】 補助率2/3以内（上限100万円） ※ただし、教育、文化、芸術又はスポーツの振興に関する分野かつ営利を目的としない事業は、補助率10/10以内。</p> <p>【審査】 「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金運用委員会」において審査を行う（提出書類及び応募者によるプレゼンテーションに基づく審査）。</p> <p>【決定】 上記審査結果をもとに、市長が補助金交付の内定（又は不内定）を決定。予算額を超える申請があったときは、「子どもが自主的又は主体的に関わる事業を優先する。それ以外は委員会で審査された点数順とする。その後、内定者は補助金交付申請書を提出する。</p>			事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・4月上旬～5月上旬：公募 ・5月下旬：委員会審査、内定決定 ・6月中旬：交付申請書提出 ・6月下旬：交付決定 ・6月下旬～：事業実施

分野	教育	担当部署	市長公室 政策企画課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	550千円 (550千円)
目的	令和3年度に一般社団法人Sustainable Gameとの間で締結した包括連携協定に基づき、SDGsの達成及び将来世代のニーズを反映させた持続可能な社会・経済の実現に資することを目的として、中学校、高等学校等におけるESD（持続可能な開発のための教育）の推進支援や社会問題に関心のある将来世代を本市へ呼び込む企画など、「若者活躍の聖地」を目指した取組を推進する。				
事業概要・主な経費	<p>○事業概要</p> <p>市外中高生との交流プログラム SDGsに関心のある市外の中高生と市内中高生の交流プログラム。活動事例の発表、ワークショップ等。</p> <p>○主な経費 コーディネート業務委託料 550千円</p> <p>※一般社団法人Sustainable Gameとは 2020年に高校生により設立され、全国の現役中高生で構成される法人。SDGsの普及や未成年の社会参画の促進を目的としたイベントやコミュニティ運営などの事業を展開し、これまで大企業等40社以上の企業と連携・協業されています。</p>				
	事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 8月 市外中高生との交流プログラム 			

分野	教育ほか	担当部署	教育委員会事務局 教育総務課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	2,700千円 (2,700千円)	
目的	<p>令和3年4月から京都府立丹後緑風高等学校（網野学舎）で全国部活動特別入学選抜が実施された。このため、京都府外の遠方から入学する生徒の下宿等（下宿、寮及びアパート等）に係る経済的負担を軽減するため、当該経費の一部を支援することで生徒の就学支援をはじめ、地域で培われたスポーツ風土を生かした部活動を応援することで人材の育成及び市内の高等学校の存続発展と地域の活性化に資することを目的とする。</p>					
事業概要・主な経費	<p>【支援内容】 下宿費等の賃借料の2分の1以内の額（千円未満の端数は切り捨てし、月額2万円上限）を、正規の修業年限（3年間）について支援する。</p> <p>【対象者の要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 京都府外の都道府県からの入学生徒の保護者に支援する。 入学後、生徒は京丹後市の住民基本台帳に登録され、現に居住し、就学すること。 入学後、生徒は指定された部活動（レスリング部）に加入すること。 また、申請時には、学校長の証明を添えること。 令和7年度の募集人員は、6人以内とする。 <p>【全国部活動特別入学選抜入学生の状況】</p> <p>令和5年度入学生 5人 令和6年度入学生 2人</p>					
	事業スケジュール	<p>令和6年8月 令和7年度京都府立高等学校第1学年生徒募集定員等、京都府立公立高等学校入学選抜要項周知、公表開始</p> <p>令和7年2月 入学者選抜試験</p> <p>4月 入学後、交付申請書提出、第2学年及び第3学年交付申請書提出（R5、R6年度交付決定者） 年3回補助金交付（8月、12月、4月）</p>				

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 教育総務課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	1,325千円 (1,325千円)	
目的	令和6年8月頃から事業を実施開始。低所得子育て世帯（住民税非課税世帯）のこどもの学習機会を確保するため、受験料の補助を行うことで、大学等進学に向けた支援を行うことを目的とする。					
事業概要・主な経費	<p>【支援内容】 学校教育法に規定する大学、短期大学、専門職大学、専修学校(専門課程又は一般課程に限る。)、各種学校(同報第1条、第124条、第134条)を受検する方の保護者を対象に受験料(大学等を受験する際に必要な費用(受験料))を一人53,000円を上限に補助する。</p> <p>【対象の要件】 申請年度の末日において20歳未満の受験生の保護者等で、下記①～④のいずれにも該当すること</p> <p>①受験生及び保護者等が同一の世帯に属していること ②申請年度において、世帯を構成する者のいずれもが住民税非課税である世帯であること ③世帯を構成する者のいずれもが本市に納入すべき市税等を滞納していないこと ④申請日において1年以上継続して京丹後市の住民基本台帳に記録されていること</p> <p>【対象者の状況】 令和6年度認定者：1名(1名非該当) ※R6.12.31時点</p> <p>【支援の内容の見込み】 大学等受験料 53,000円×25人</p>			事業スケジュール	<p>令和7年7月頃 募集開始 市内高校3校への広報、HPや広報京丹後等での広報</p> <p>令和7年12月頃 再度上記方法等で広報</p> <p>令和8年3月末 募集終了 (※8月～3月末まで随時募集)</p>	

分野	スポーツ	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	300千円 (238千円)
目的	スポーツの基礎となる陸上競技の機会の提供、また、市民のスポーツ実施率向上、健康づくり及び体力づくりの向上、市のスポーツ振興に寄与することを目的とする。				
事業概要・主な経費	<p>○主催 京丹後市・京丹後市教育委員会・一般財団法人京都陸上競技協会</p> <p>○主管 北丹陸上競技協会</p> <p>○日程 6月下旬～7月中旬 午前8時30分受付（午前10時 競技開始）</p> <p>○会場 峰山途中ヶ丘公園 京丹後はごろも陸上競技場</p> <p>○参加資格 (1) 小学生以上で、京丹後市に在住・在勤であること。 (2) 車いす競技は、健常者であっても出場することができる。</p> <p>○種目 (1) 一般競技の部（10種目・男女別） 60m、100m、800m、1500m、3000m 4×100mR、走幅跳、砲丸投、やり投、ジャベリックボール投 (2) 公認競技の部（8種目・男女別） 100m、800m、1500m、3000m 4×100mR、走幅跳、砲丸投、やり投 (3) 車いす競技の部（2種目・男女別） 60m、100m</p> <p>○定員 250名</p> <p>○参加料 参加料は、1人あたり以下のとおりとする。 小人：無料 大人（18歳以上）：500円</p>				
	事業スケジュール	<p>4月中旬 主管団体との会議</p> <p>5月上旬 エントリー開始</p> <p>6月上旬 エントリー締切</p> <p>6月下旬～7月中旬 京丹後市民陸上記録会</p>			

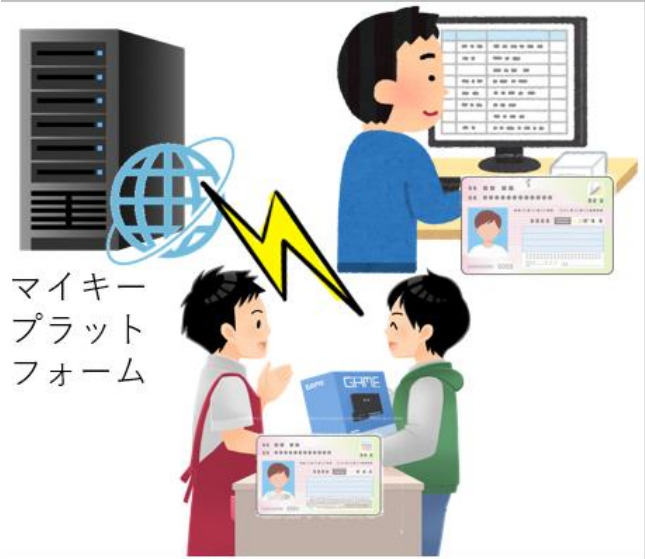
分野	スポーツ 文化	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	800千円 (800千円)
目的	各種の文化・スポーツにおいて、世界大会・国際大会へ出場する児童・生徒に激励金を交付することにより、功績を称えるとともに、ジュニアアスリートの競技力向上や広報誌等による情報発信によって競技人口の拡大及び市のスポーツ振興を図ることを目的とする。				
事業概要・主な経費	<p>○対象者 市内に住所を有している小中学校及び高校の児童・生徒</p> <p>○対象となる大会 【スポーツ激励金】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.全国高等学校総合体育大会・全国高等学校定時制通信制体育大会 2.文部科学省、(公財)日本体育協会または加盟競技団体等が主催、所管、後援する全国大会 3.文部科学省等、(公財)日本オリンピック委員会が派遣する国内・外で開催される国際大会 等 <p>【文化活動激励金】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.文部科学省、文化庁等国の行政機関が主催又は共催する全国大会 2.国が所管する公益法人が主催又は共催する全国大会 等 <p>※予選会又は選考会を経ずに出場できる大会を除く</p>				
	<p>○激励金額</p> <p>国際大会 1人につき30,000円</p> <p>全国大会 1人につき10,000円 (団体競技は1団体上限30,000円)</p> <p>○過年度実績</p> <p>令和6年度 国際大会10人、全国大会42人、計680,000円(12月末現在)</p> <p>令和5年度 国際大会 9人、全国大会64人、計870,000円</p> <p>令和4年度 国際大会 4人、全国大会52人、計610,000円</p>	事業スケジュール	<p>6月 学校宛て対象者照会</p> <p>7月 夏の大会等出場者激励会開催及び激励金交付</p> <p>その後も大会出場決定の都度、激励会の開催及び激励金の交付を行う。</p>		





No10 京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う 事業提案様式





文化芸術推進事業

分野	文化	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	2,521千円 (1,361千円)
目的	<p>本市文化芸術振興条例に基づき策定した「京丹後市文化芸術振興計画」では、『文化芸術を楽しみ 人が輝く京丹後～はぐくむ、つなぐ、いかす“日本のふるさと丹後”の文化を次世代へ～』を理念とし、本市の豊かな文化的資源を継承・活用して、市民が文化芸術に親しみ、愛着や誇りを感じられる文化芸術のまちづくりを進めます。</p> <p>この理念を実現するために定めた6つの基本方針に沿って、文化芸術活動機会の確保や文化的資源の継承、文化芸術関連団体の振興や人材育成、情報発信などの事業に取り組み、まち全体で文化芸術を楽しむ気運の醸成につなげます。</p>				
事業概要・主な経費	<p>1「京丹後アートフェスティバル2025」の開催 市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供するため、一定期間をフェスティバルとして開催する。 開催当初から好評を博しているARTMAPは、大阪・関西万博への本市出展期間にあわせ、内容の一部を日英表記とし、市内外での配架を予定している。 「みるプログラム」では、質の高い芸術鑑賞の機会として、丹後に縁ある世界的に活躍するアーティストやクリエイターを紹介する展覧会シリーズを始め、市民に知られざる表現や活動を紹介します。また、市民の創作発表の場づくりとして、空き家や空きスペースなどを公募し、展示できる空間をまちなかに創出する「まちじゅうが美術館プロジェクト」を継続、市文化協会を連携しながら、通年での運用を目指す。 体験型の「知るプログラム」では、3年目の集大成として、市民参加者とともにダンスや陶芸の発表を予定している。</p> <p>■事業費2,321千円（基金充当予定額1,161千円） ・「みるプログラム」1,300千円 （報償費（謝金）50千円、需用費200千円、委託料1,050千円） ・「知るプログラム」1,021千円 （報償費（謝金）120千円、需用費290千円、委託料366千円、使用料245千円）</p> <p>2丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金 障害がある方たちへの市民の理解醸成といまいき暮らせるまちづくりにつなげることを目的に、障害がある方の絵画等アート作品を市内各所で展示する「TANGOまるっぽ美術館」を開催する同実行委員会に対し経費に対し助成する。 ■補助金200千円（基金充当予定額200千円） （対象経費内訳：会場費30千円、周知チラシ作成20千円、作品謝礼110千円、展示謝礼40千円）</p>				 <p>1「京丹後アートフェスティバル2025」実施イメージ</p> <p>2丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会による展覧会イメージ</p> <p>事業スケジュール</p> <p>1「京丹後アートフェスティバル2025」 6月 広報連携事業およびワークショップ参加者の公募 7月 ARTMAP配布開始 9月～11月 フェスティバル開催予定</p> <p>2丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金 ～10月 作品制作および作品選定 11月 展覧会開催予定</p>

分野	社会教育	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	2,778千円 (491千円)
目的	<p>人生100年時代を見据え、市民一人一人が生涯を通じて学ぶことのできる環境の整備、学習の機会を提供し、リスキング（新たな学び直し）の推進に寄与する。 (仮称)京丹後市民大学を通じ、地域理解やコミュニティづくり等、市民の方の自主的な活動につなげるきっかけづくりの場をつくる。</p>				
事業概要・主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ● 講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状理解や、生きがいづくり、健康づくり等につながる内容を開催。 ・現地開催だけでなく、オンライン（ZOOM等）の併用やアーカイブ配信、土日開催など、現地に行けない方、参加したいが日程が合わなかった方等等、多くの市民が参加しやすい環境を整備する。 ・オンラインでの開催により、遠方の講師へ依頼、自宅での受講が可能となるため、参加者や講座内容の硬直化の改善、講座の質の向上を目指す。 ● 受講対象者 京丹後市在住の概ね18歳以上の方 ● 令和7年度 <ul style="list-style-type: none"> ・6地域公民館合同で3回程度開催予定。 ・各地域公民館単位における、参加型、体験型の講座を開催予定。 ■ 事業費2,778千円（基金充当予定額491千円） <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金 2,418千円 （合同講座132千円、 各地域公民館単位で行う参加型、体験型講座2,286千円） ※参加型、体験型は参加者より参加費を別途徴収予定 ・消耗品費 354千円（広報紙、講座資料等） ・食糧費 6千円（講師弁当代） 			 <p>1. 合同講座 実施イメージ</p>  <p>2. 各地域公民館単位で行う参加型、体験型講座実施イメージ</p>	
		<p>事業スケジュール</p> <p>1. 合同講座 4月下旬 有機農業講座 開催予定 それ以降も、1月頃までに合同講座2回程度開催予定。</p> <p>2. 各地域公民館単位で行う参加型、体験型講座 春頃から各地域公民館で、5～10講座を36回～115回程度開催予定。 開催時期、開催回数については、各地域公民館によって異なる。</p>	<p>15</p>		

分野	図書館	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	27,898千円 (13,949千円)
目的	<p>本市における行政サービスにおけるマイナンバーカードの活用の一つとして、図書館利用者カードとしてマイナンバーカードとの連携に取り組むことで、サービスの利活用を図っていく。住民一人ひとりの人生を豊かにする事により、地域社会への貢献度を向上させるため、図書館利用者の利便性を向上していく。その一助としてマイナンバーカードを図書館利用者カードとして利用できるようにする。これにより、住民のマイナンバーカードの利用率を向上し、マイナンバーカードをさらに身近に感じてもらえるようにする。</p>				
事業概要・主な経費	<p>マイナンバーカードが必須の社会となる中、マイキーIDと図書館の利用者番号とを紐づけ、マイナンバーカードで資料の貸出、予約を行えるシステムを導入する。また、館内検索端末（館内OPAC）からも、マイナンバーカードでワンタッチで利用者認証し、貸出状況や予約状況、さらに、予約処理を行えるように、住民の利便性と読書環境の向上を図る。</p> <p>【マイナンバーカードの利活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館カードとして利用 ・資料の貸出処理 <p>【マイナンバーカードの利用者認証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内検索端末(館内OPAC)の利用者認証 ・貸出状況や予約状況の確認 ・資料の予約処理 <p>■ 事業費27,898千円（基金充当予定額13,949千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規機器購入費 18,388千円 ・図書システム設定手数料 9,425千円 (端末基本設定作業、図書システムセットアップ) ・端末処分手数料 85千円 		 <p>マイキープラットフォーム</p>		
			事業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機器選定、購入 4月～7月 機器選定を行い、入札 購入 2. システム導入設定 8月～9月 ソフト業者と協議、基本設定及びシステム導入設定 3. 運用テスト 10月 4. 実装、運用 11月～ マイナンバーカードを利用しての図書貸出、予約処理等の実施 	

分野	スポーツ	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	3,402千円 (3,402千円)
目的	スポーツ活動を通じて、本市の青少年の心身の健全育成を推進するとともに、スポーツに親しむ機会の充実に資することを目的に活動をする団体を支援する				
事業概要・主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●活動補助金対象となる団体 京丹後市青少年スポーツ協会 ・加盟教室数60教室 (野球10、バレーボール9、バスケットボール6、サッカー6、空手道6、陸上5、剣道及び柔道5、テニス・バドミントン6、その他7) ●団体の主な活動 <ol style="list-style-type: none"> 1.加盟団体の育成及び支援 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付 ・募集チラシ作成・配布 2.加盟団体指導者の研修及び交流 <ul style="list-style-type: none"> ・3役会の開催(令和7年度3回予定) ・役員会の開催(令和7年度3回予定) ・研修会等の開催(令和7年度5回予定) 指導者意見交流会(8月)、指導者研修会(6月、10月)、普通救命講習(5月)パラスポーツ体験会(12月)等 ■事業費3,402千円(基金充当予定額3,402千円) <ul style="list-style-type: none"> ・団体活動補助金3,240千円(月額4,500円×12月×教室数) ・事務費62千円(消耗品費) ・事業費100千円(講師謝金80千円、消耗品費20千円) 				
					
		事業スケジュール	<p>4月頃 対象団体へ照会 4月 総会 活動補助金の交付決定 5月～12月 研修会等開催 2月 教室募集チラシ作成・発行 加盟団体活動助成金の交付</p>		

分野	社会教育	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	1,219千円 (1,219千円)
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・児童合唱団補助金：市内に在住する児童生徒を対象に活動する合唱団が行う事業を支援し、もって青少年の健全育成と豊かな情操を育む。 ・青少年健全育成活動費補助金：青少年健全育成会の自主的な活動を支援し、もって社会教育の振興、発展を図る。 ・子ども教室活動補助金：心豊かでたくましい子どもを社会全体で育む。 				
事業概要・主な経費	<p>●団体の主な活動</p> <p>1.児童合唱団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回の練習、各イベントへの参加等 (大宮児童合唱団、網野グリーンクワイア、久美浜児童合唱団) <p>2.青少年健全育成会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動(令和6年度実績：カヌー体験教室、漁業体験・食育体験等) ・あいさつ運動(令和6年度実績：市内全中学校・丹後緑風高校・清新高校で実施 合計352人(参加人数)) ・夏の安全パトロール(令和6年度実績：間人みなと祭り・浅茂川水無月祭・千日会観光祭で実施 53人(参加人数)) ・青少年健全育成・家庭教育講演会(令和6年度実績：京丹後教育フォーラム(共催) 約180人(参加者数)) <p>3.地域子ども教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動等の事業を行う。 ・京丹後市内の小中学校区単位で、地域の中に子どもたちの安心・安全な居場所を設け、放課後、休日等に年間を通して活動 (活動教室数：峰山町域1、大宮町域1、久美浜町域3) <p>■事業費1,219千円(基金充当予定額1,219千円)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.児童合唱団活動補助金 319千円(1団体100千円+在籍人数×1千円) 2.青少年健全育成活動補助金 400千円 3.地域子ども教室活動補助金 500千円(1団体100千円×5団体) 		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>カヌー体験教室 実施イメージ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>あいさつ運動 実施イメージ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>青少年健全育成・家庭教育講演会 実施イメージ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地域子ども教室 実施イメージ</p> </div> </div>		
事業スケジュール	<p>4月頃 対象団体へ照会 5月～7月頃 活動補助金の交付決定</p>				